

平成27年度 第3回印西市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成28年3月11日（金）午後2時00分から午後3時55分まで
- 2 開催場所 松山下公園総合体育館 会議室
- 3 出席者 青木和浩委員 富所正史委員 五十嵐靖宏委員 伊東勝正委員 齊藤輝一委員
梅澤章子委員 本郷美代委員 秋山 剛委員 岡田光靖委員
- 4 欠席者 齋藤奈智子委員
- 5 事務局 スポーツ振興課 渡邊課長 岩井副主幹 宮内主任主事
- 6 傍聴者 0人
- 7 会議 以下のとおり

1. 開 会 進行 事務局

2. あいさつ 青木会長
<議長 青木会長>

3. 報告事項

(1) 平成27年度スポーツ事業の報告について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

(委員) 前回の会議の際、印西水泳教室の参加者が少ないと言っていたが、どうだったのか。

(事務局) 定員を100名とし、午前・午後の二部制で開催したが、最終参加人数は86名だった。当日は、中学校の大会と重なってしまったことで中学生は少なかったが、その分小学生の応募を増やし、より多く参加していただけたことができた。岩崎恭子さんも実際にプールに入り、一人ずつ参加者の目を見ながら細かく指導をしていただき、参加者にとって大変有意義な時間を過ごすことができたと感じている。

(委員) とても良い取り組みである。

(委員) 年齢が40歳以上にとって、岩崎恭子さんは国民的認知度がかなり高いと思うが、これほどの方を呼ぶにあたり、経費はいくらかかったのか。

(事務局) マネージメント会社を通じて、約80万円の経費で講師をお願いできた。

(委員) 金メダリストであるから、倍ぐらいの経費がかかると思ったが、とてもリーズナブルな価格で驚いた。

(委員) 受益者負担はあったのか。

(事務局) 参加料として、500円を徴収した。

(委員) 予算は市の財源か。

(事務局) 市の一般財源である。

(委員) 何年か計画しているのか。

(事務局) 前回の会議で「アスリート教室」として議題にあげたが、平成26年11月に印西・WRC陸上教室を開催したのをきっかけに、アスリート教室として今年度は2年目であり、今回は水泳教室を実施した。

- (委 員) 毎年実施する予算は確保しているのか。
- (事務局) 平成28年度予算については、昨日議会で可決し、150万円の予算を計上できた。
今の計画では、東京オリンピックが開催される平成32年度までとして、財政課と協議している。
- (委 員) みるスポーツ・ささえるスポーツというキーワードとしてバッチリの企画であったと思う。
- (委 員) 一部の人が行くのではなく、広報誌等でもっと広めるといい。
- (事務局) 広報いんざい、市のHPのほか、体育協会HPやスポーツいんざい、さらにケーブルネットの取材もあり、多方面で案内をしている。
- (委 員) 世代によって知る媒体が違うので、様々な方法で広報等をしてほしい。
- (委 員) 86名という人数について、予想していた人数としてどうか。
- (事務局) 定員100名に対して、それなりの人数であったと考えている。
- (委 員) マムートカップの「マムート」とは何か。
- (事務局) 山岳関係のメーカーであり、今月末に開催する「日本選手権及びユース選手権リード競技大会」のスポンサーである。
- (委 員) 「リード競技」とは何か。
- (事務局) 昇る人と支える人をロープで繋ぎ、二人一組で行う競技である。その他に「ボルダリング」や「スピード」がある。東京オリンピックでは3種目を実施する。
- (委 員) クライミングができる施設は少ないから、そういったところを押し出していただければいいと思う。
- (委 員) 千葉県ではここだけか。
- (委 員) 民間施設ではいくつかあるが、ここまでの規格がある施設は印西市だけである。
- (委 員) 大々的に広めて盛り上げていいと思う。見学科はあるのか。
- (事務局) 無料である。広報として、総合体育館内にポスターを掲示してある。

4. 議 題

(1) 平成28年度スポーツ事業の計画について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

(委 員) 20周年記念として、事業が増えるのか？

(事務局) 増える事業は、印西ふるさとハーフマラソン大会のみで、実行委員会を組織して開催する予定である。担当する部署はふるさとづくり推進課であり、スポーツ振興課は事業協力の立場で関わっていくことになる。ラグビーまつり、スポーツフェス、印西バレーボール教室は、20周年冠事業として開催する。

(委 員) ラグビーまつりについて、NTTとNECの他、チームは決まっているのか。

(事務局) 正式な話ではないが、NECについては、ラグビーまつりを開催する時期に合宿の予定があるため、トップリーグで活躍している県内チームとして「クボタ」がいるので、平成28年度は、NTTとクボタの試合を予定している。大学チームについては、筑波大学と流通経済大学を予定している。女子7人制ラグビーについては、リオデジャネイロのオリンピック出場に伴い、招致できるか未定である。千葉県ラグビーまつり

実行委員会が主体となり、その中で人脈を通じて、トップリーグのチームを誘致している。

- (委員) ラグビーのニュースを見ていると、スタンドが一杯になっているが、陸上競技場のスタンドはどうなのか。
- (事務局) 陸上競技場スタンドは、1,000席ある。それ以上に観客が来た場合は、トラック回りの芝生エリアに入れるようにするなど、実行委員会で検討してもらい、対応していこうと考えている。
- (委員) スポーツフェスについては、順天堂大学体操部で調整している。例年、県民の日の体育事業に参加しているが、平成28年度は印西市の事業に参加するため、断りを入れている。市制20周年なので、スポーツとしても魅力ある事業を展開し、市民にとっていい思い出となればと思う。印西ふるさとハーフマラソン大会については、順天堂大学からも仲村明先生を委員として選出しており、専門的に意見を出していただけるのではないかと。大会開催に伴い、ウォーキングやランニング人口が増えるきっかけになればと思う。いんざい室内棒高跳についても、選手からはとても飛びやすい会場だと伺っており、日本のトップ選手もスケジュールを組んで来るほど人気のある場所となっている。非常に良い事業だったと聞いている。
- (委員) 学校体育施設開放事業に関わっているものとして現状を話すと、昨年7月から牧の原小学校は開放事業をスタートしている。平成27年度は17団体が登録しており、登録団体数が一桁であるところがほとんどの他の学校と比べると、かなり多い数字になる。17団体のほとんどが牧の原地区以外の団体であり、利用している児童や大人に牧の原地区の住民はほとんどいない。17団体中、3団体は7月以降、一度も使用していない、さらに17団体中、約半分の団体が2回に一回も使用していないのが現状である。第二・第三の利用場所として、キープしてあるが、実際は使用をしていない。市から委嘱を受けた管理指導員としては、全ての団体を把握しないといけない中で、約半分の団体が申し込みしかせず、使用していないというのが今年度だった。このようなことは、スポーツを推進するというこの事業の趣旨とは、違うのではないかと思う。平成28年度は15団体の申し込みがあると聞いており、滝野地区の団体が新規に申し込みをしたということなので、27年度に比べれば、少しは地元の人達が積極的に利用してくれるのかなと推察している。活用状況についても、開放日誌を体育館に設置し、団体に記入してもらおうよう状況把握に努めているが、全てを知ることはできない。団体からの活動状況報告を必須にさせることや申請できる数に制限がある等の規定がないことも要因になっているのではないかと。まだ地域自体が出来上がっていない地区であり、数年後、この地域でスポーツ団体を立ち上げようとした時、利用できる開放施設がないのが分かると、団体設立を断念してしまうのではないかと懸念される。
- (委員) 利用していない団体は外すような規定を作らないとダメだと思う。
- (委員) 冠事業も重要だが、学校の問題や市民のスポーツ推進活動等においても、当審議会では対処していかなければならない。庁内においても、十分整理・精査してほしい。
- (事務局) 担当と協議し、対応を考える。

(2) 平成28年度スポーツ振興所管補助金について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

(委員) ママさんバレーボールについては、補助金がないため、事業は実施しないのか。

(事務局) その通りである。

(3) スポーツ振興基本計画について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

(委員) 委員は新しくなるのか。

(事務局) 現在の委員の任期が6月30日までとなる。他の課に設置される委員会は4月からの任期となるため、当審議会の委員とは任期期間に違いがある。計画策定業務のスタート時期も示されていないので、委員改選前に業務がスタートした場合は、引継ぎ等を行い、計画を進めていく予定である。

(委員) 計画期間の平成30年度から33年度の間、東京オリンピックが開催されるため、非常に特殊なスポーツ振興計画になると思われる。

(4) (仮称) スポーツ広場整備事業について

- 事務局説明 —
- 質 疑 —

(委員) 駐車場が狭いが、どうなのか。

(事務局) 担当課である都市整備課からは、利用台数が増えた場合、駐車場に隣接する芝生広場を臨時駐車場として利用できるよう予定していると聞いている。

(委員) 平成23年度に示された計画の時は、テニスコートも計画されていたようだが、見当たらない。体育施設等の使用状況を加味して考えているのか。施設を作る際に、どのようなものを参考にしているのか。

(事務局) 現在進行している計画の中には、テニスコート設置の計画はない。計画については、平成20年度ぐらいから市役所内及び市民会議において、報告や意見等を聞くなどの手続きを踏まえた上で進めてきた。

(委員) フットサルコートとペタンクコートについては、要望があつて計画されたのか。

(事務局) 関係者からの意見を聞き、計画してきた。市体育協会内にはペタンク協会があり、松山下公園多目的広場において、市内・外から参加がある大会を開催しており、ペタンク普及の一助となるよう、また、フットサルについても、少年サッカーが盛んに行われている中で、サッカーと競技性の違いはあるが、市内には場所がないことから、それぞれコート整備を計画してきた。

(委員) このような事業計画について、閉鎖的なところで決定しているように思われる。なぜもっとオープンにして色々な人から意見を聞かないのか。

(事務局) 情報の発信という面では、行き届いていない部分があつたかと思われるが、平成20年度当初から計画に係る意見交換や情報提供などの手続きは踏まえた上で、検討してきた。

- (委 員) ペタンクは、青少年の活動や認知度はあるのか。
- (事務局) 学校体育施設開放事業において、使用している団体があり、高齢者の方が活動されている。
- (委 員) 現時点で印西市にフットサルコートとペタンクコートはあるのか。
- (事務局) 特にない。
- (委 員) 整備されれば今回が初となり、聖地になるのではないか。小学校の教育基本方針の中で、ペタンクを行うことはあるのか。
- (委 員) 学校体育では実施していない。
- (委 員) 誰でもできる競技なので、これから普及しそうなニュースポーツなのかと思う。
- (委 員) 用具はどの程度あるのか。
- (事務局) 供用開始までには、備品の整備を含めて計画し、当審議会に諮る予定である。
- (委 員) スポーツ推進審議会の役目として、このような事業を検討・意見する機関でもあるので、もっとオープンに意見を聞いてほしい。
- (委 員) フットサルコート2面の向きが統一しておらず、防護ネットについても、必要となるネットの張り方ではない。向きを統一したほうがいいのではないか。
- (事務局) 他からも同意見が出ており、計画に反映させていく。
- (委 員) 知り合いが持っているテニスコートは、フットサルにも貸しているが、フットサルコートと面積は近いのか。
- (委 員) 近いと思われる。
- (委 員) 一つの種目だけではなく使えるのはいい。
- (事務局) スポーツ広場整備については、平成28年度から測量及び設計が始まるので、今回いただいた意見や今後の審議会においてもいろいろな意見を聞き、多くの方に利用していただけるような施設整備計画を進めていく。

5. 閉 会

- (事務局) ・東日本大震災犠牲者への黙とう（午後2時46分）
・今回が委員任期2年の最後の会議。4月以降、委嘱手続きを行う。